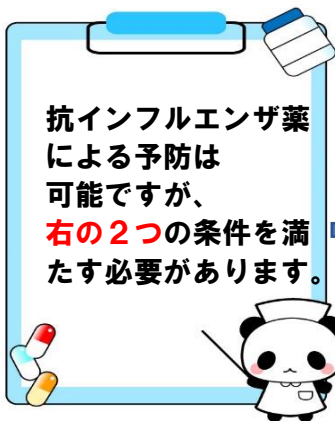


インフルエンザにかかりたくない！ — 抗インフルエンザ薬で予防できませんか？ —

新しい年が明けてからA型インフルエンザが猛威をふるっています。1月末の時点でも今治市のインフルエンザ発生状況は警報レベルが続いていますので、油断しないようにしましょう。インフルエンザの流行期になると、「高校受験が控えているので、お薬を使って予防できませんか？」など、抗インフルエンザ薬による予防投薬について質問を受けることがよくあります。



- ① 家族など同居の人がインフルエンザにかかっていること。
- ② かかったときに重症になる可能性がある人が対象。
対象は以下の人です。
 - *65歳以上の高齢者
 - *気管支喘息など慢性の呼吸器疾患がある
 - *心不全など慢性の心臓病がある
 - *糖尿病などの代謝性疾患がある
 - *腎臓病がある

あくまで予防ですので、医療保険の適用にはならず、お薬代は全額自己負担です。2つの条件以外の人に使うことが禁じられているわけではありません。添付文書に記載されていない適用外ですので、万一副作用が生じた場合、医薬品救済制度の適用にならないため、補償が受けられないことになります。かかりつけの先生にご相談ください。

インフルエンザになった時、同居の家族にうつらないようにしたい！その対策とは？



- ①看病する人は、1人に決める。
- ②看病をする人は、できる限りマスクを着用する。
- ③看病する人は、こまめに手洗いをする。
(看病をした後、食事の前、就寝前など)
- ④タオルは、他の家族とは別にする。



ポイント

1月のご利用状況

1月の利用延べ人数は98名、一日平均利用人数は5.1人でした。年齢別では、1歳児が23名(23%)で最も多く、次いで2歳児17名(18%)、3歳児の17名(18%)の順でした。入室した児童のうち約7割がインフルエンザでした。そのため、1歳から6歳まで各年齢の子どもの入室があり、小学生の入室も6名ありました。インフルエンザに次いで多い疾患は発熱を主症状とする急性上気道炎でした。